



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 日本精密株式会社

コード番号 7771 URL <http://www.nihon-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡林 博

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務・経理部長

(氏名) 阪井 明男

TEL 048-225-5311

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,135	△12.0	△287	—	△351	—	△206	—
28年3月期第3四半期	6,968	19.0	231	213.1	166	△22.5	112	△39.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △226百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 125百万円 (△37.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
29年3月期第3四半期	円 銭 △11.17	円 銭 —
28年3月期第3四半期	6.32	6.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
29年3月期第3四半期	百万円 6,918	百万円 2,379	% 34.4
28年3月期	6,950	2,514	36.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 2,379百万円 28年3月期 2,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,206	9.3	306	8.5	231	138.0	352	611.7	19.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注) 添付資料3ページ「2. サマリー情報(注意事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	18,768,999 株	28年3月期	18,428,999 株
29年3月期3Q	208,574 株	28年3月期	208,343 株
29年3月期3Q	18,522,776 株	28年3月期3Q	17,864,076 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 生産、受注及び販売の状況	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下、「当第3四半期」という。）における我が国経済は、米国経済は堅調に推移しているものの、中国や新興国経済の減速懸念、米国の大統領選挙や利上げの影響による急激な為替相場の変動など、先行きについては不透明感が強まっております。

このような状況下、当社グループは、平成30年3月期の利益計画「ASEANプロジェクト」の4年目を迎え、「生産能力の増強」「サプライチェーンの構築」「更なる付加価値製品の提供」をテーマに、計画の達成に向けて引き続き取り組んでおります。製造子会社であるNISSEY VIETNAM CO., LTD. においては、表面処理専用の新工場（平成27年9月着工）が8月から本格稼働を開始したことにより、時計関連部品等の一貫生産工場としての効率が大幅に向上しました。また、更なる生産効率の向上に向けて、半自動化・オートメーション化も引き続き推進しております。同じくNISSEY CAMBODIA CO., LTD. の敷地内では、新工場（NISSEY CAMBODIA METAL CO., LTD.）の建設に着手しました。これらの取り組みと並行して、その他事業であるウェアラブル関連や健康器具等の新規顧客との取引拡大など、受注促進にも注力してまいりました。一方、インバウンド需要の減速などにもとない時計関連の受注は減少しており、販売単価の下落や消費の節約志向などにより、メガネフレームも厳しい環境が続いております。

この結果、当第3四半期の連結売上高は6,135,161千円（前年同四半期は6,968,251千円）となりました。

損益につきましては、売上総利益は、NISSEY VIETNAM CO., LTD. において、残業時間の削減等の製造コストの圧縮に努めてまいりましたが、時計関連の取引先の在庫調整などによる受注の減少、そして繰越在庫の減少に加え、上期の円高によるグループ全体の売上の減少などの複数のマイナス要因が重なり1,031,520千円（前年同四半期は1,644,783千円）となりました。営業損失は、労務費や諸経費削減等の販管費の圧縮を行いました。売上総利益の減少により287,486千円（前年同四半期は営業利益231,767千円）となりました。経常損失は、第3四半期末にかけての円安による在外子会社の外貨建て債務等の為替評価損の計上などにより351,061千円（前年同四半期は経常利益166,058千円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、製品安定供給準備金200,000千円を特別利益に計上しましたが、個別の黒字決算による法人税等の計上などもあり206,947千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益112,881千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 時計関連

時計関連の売上高は4,656,129千円となり、前年同四半期比で652,233千円減少しました。このうち、時計バンドの売上高は、海外の取引先からは新規モデルの受注などにより2割以上増加しましたが、国内の取引先については、取引先の在庫調整や上期の円高の影響などもあり、大幅な減少となりました。また同じく時計部品の売上高についても、国内の取引先からの受注の減少などにより大幅な減少となりました。

これにより、前述した売上総利益の減少もあり、セグメント損失は303,760千円（前年同四半期はセグメント利益360,017千円）となりました。

② メガネフレーム

メガネフレームの売上高は968,868千円となり、前年同四半期比で413,410千円減少しました。このうち、(株)村井の売上高は、新規に投入したブランドは好調なもの、海外売上の減少、また国内の市場環境は一層厳しくなっており、取引先の在庫調整等による受注の減少なども重なり、359,029千円の大幅な減少となりました。また、当社のメガネフレーム部門の売上高は、大型チェーン店や大手メーカーからの受注の減少などにより54,381千円の大幅な減少となりました。

しかしながら、(株)村井の利益重視の営業活動の強化、円高による仕入コスト及びロイヤルティの減少、販管費の削減などにより赤字幅は縮小し、セグメント損失は110,362千円（前年同四半期は164,769千円）となりました。

③ その他

その他の売上高は510,163千円となり、前年同四半期比で232,553千円増加しました。釣具用部品は減少、静電気除去器は微増でしたが、新規製品であるウェアラブル関連及び健康器具の売上分が著しい増加となりました。

これにより、セグメント利益は114,939千円（前年同四半期は23,251千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6,918,688千円となり、前連結会計年度末と比べ31,793千円減少しました。このうち、流動資産は3,892,914千円となり、238,643千円減少しました。これは主に、商品及び製品の増加141,264千円、現金及び預金の減少69,066千円、売上高の減少による受取手形及び売掛金の減少146,241千円、仕掛品の減少140,614千円などによるものです。固定資産は2,993,273千円となり、215,218千円増加しました。これは主に、NISSEY VIETNAM CO., LTD. の第4工場建物の取得等による建物及び構築物の増加530,546千円、建設仮勘定の減少228,578千円などによるものです。繰延資産は32,500千円となり、8,368千円減少しました。これは主に、NISSEY CAMBODIA CO., LTD. の開業費の償却などによるものです。

負債合計は4,539,175千円となり、102,833千円増加しました。このうち流動負債は2,882,628千円となり、30,109千円減少しました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の増加147,872千円、短期借入金の減少241,491千円などによるものです。固定負債は1,656,547千円となり、132,942千円増加しました。これは主に長期借入金の増加130,417千円などによるものです。

純資産は2,379,512千円となり、134,626千円減少しました。これは主に、新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金のそれぞれ増加47,277千円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少206,947千円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では、為替相場等の不確定要素を多く含んでいるため、平成28年5月13日付にて公表致しました通期の連結業績を据え置くことといたします。

(4) 生産、受注及び販売の状況

当第3四半期連結累計期間において、その他の生産高、受注高及び受注残高、並びに販売実績がそれぞれ著しく増加しております。これは、新規製品であるウェアラブル関連及び健康器具の受注及び販売などによるものであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第3四半期累計期間において、NISSEY CAMBODIA METAL CO., LTD. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

連結子会社の数 5社 (新規) 1社 (除外) 1社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,355,892	1,286,826
受取手形及び売掛金	1,096,960	950,719
商品及び製品	420,408	561,673
仕掛品	777,437	636,823
原材料及び貯蔵品	318,707	276,967
その他	202,613	215,145
貸倒引当金	△40,463	△35,239
流動資産合計	4,131,558	3,892,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	824,602	1,355,149
機械装置及び運搬具(純額)	682,324	628,693
工具、器具及び備品(純額)	80,722	86,803
土地	123,614	123,614
建設仮勘定	414,359	185,781
有形固定資産合計	2,125,623	2,380,042
無形固定資産		
借地権	410,708	411,527
その他	54,803	40,411
無形固定資産合計	465,512	451,938
投資その他の資産		
投資有価証券	82,323	67,499
敷金及び保証金	35,241	33,845
その他	82,794	73,389
貸倒引当金	△13,442	△13,442
投資その他の資産合計	186,918	161,291
固定資産合計	2,778,054	2,993,273
繰延資産		
開業費	40,869	32,500
繰延資産合計	40,869	32,500
資産合計	6,950,481	6,918,688

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	767,182	791,726
短期借入金	1,238,450	996,959
1年内返済予定の長期借入金	583,947	731,819
未払法人税等	22,706	47,193
賞与引当金	35,125	2,120
その他	265,325	312,810
流動負債合計	2,912,738	2,882,628
固定負債		
長期借入金	1,396,471	1,526,889
繰延税金負債	12,933	7,164
退職給付に係る負債	114,198	118,675
その他	—	3,817
固定負債合計	1,523,604	1,656,547
負債合計	4,436,342	4,539,175
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,820,976	1,868,253
資本剰余金	1,804,081	1,851,358
利益剰余金	△1,099,959	△1,306,907
自己株式	△41,314	△41,366
株主資本合計	2,483,783	2,371,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,117	16,170
為替換算調整勘定	2,395	△7,995
その他の包括利益累計額合計	27,513	8,174
新株予約権	2,841	—
純資産合計	2,514,138	2,379,512
負債純資産合計	6,950,481	6,918,688

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	6,968,251	6,135,161
売上原価	5,323,468	5,103,641
売上総利益	1,644,783	1,031,520
販売費及び一般管理費	1,413,015	1,319,006
営業利益又は営業損失(△)	231,767	△287,486
営業外収益		
受取利息	1,067	221
受取配当金	1,271	1,424
受取家賃	4,420	9,473
持分法による投資利益	—	2,121
貸倒引当金戻入額	—	5,223
その他	6,583	7,497
営業外収益合計	13,342	25,962
営業外費用		
支払利息	42,095	46,993
為替差損	21,669	19,511
その他	15,286	23,032
営業外費用合計	79,051	89,537
経常利益又は経常損失(△)	166,058	△351,061
特別利益		
固定資産売却益	—	523
製品安定供給準備金	—	200,000
新株予約権戻入益	—	1,447
特別利益合計	—	201,970
特別損失		
固定資産除却損	474	47
投資有価証券評価損	—	5,173
災害による損失	—	3,155
特別損失合計	474	8,376
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	165,584	△157,466
法人税等	52,702	49,480
四半期純利益又は四半期純損失(△)	112,881	△206,947
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	112,881	△206,947
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,710	△8,947
為替換算調整勘定	△707	△10,391
その他の包括利益合計	13,002	△19,339
四半期包括利益	125,883	△226,287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,883	△226,287
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第3回新株予約権の行使により、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ47,277千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,868,253千円、資本剰余金が1,851,358千円となっております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	時計関連	メガネフレーム	その他	合計
売上高				
外部顧客への売上高	5,308,362	1,382,278	277,610	6,968,251
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	5,308,362	1,382,278	277,610	6,968,251
セグメント利益又は損失(△)	360,017	△164,769	23,251	218,499

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	218,499
減損固定資産の減価償却費の調整	4,145
その他の調整額	9,121
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	231,767

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	時計関連	メガネフレーム	その他	合計
売上高				
外部顧客への売上高	4,656,129	968,868	510,163	6,135,161
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	4,656,129	968,868	510,163	6,135,161
セグメント利益又は損失(△)	△303,760	△110,362	114,939	△299,182

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△299,182
減損固定資産の減価償却費の調整	4,141
その他の調整額	7,554
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△287,486

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
時計関連	3,021,742	△13.0
メガネフレーム	56,452	△42.3
その他	425,869	+54.3
合計	3,504,064	△8.9

- (注) 1. セグメント間取引はありません。
2. 金額は、販売価格によっております。
3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
時計関連	4,508,324	△16.9	790,885	△5.2
メガネフレーム	1,197,171	△18.2	512,870	△0.9
その他	451,879	+58.2	79,494	+59.2
合計	6,157,374	△14.1	1,383,249	△1.3

- (注) 1. セグメント間取引はありません。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
時計関連	4,656,129	△12.3
メガネフレーム	968,868	△29.9
その他	510,163	83.8
合計	6,135,161	△12.0

- (注) 1. セグメント間取引はありません。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
RADO WATCH CO., LTD.	516,191	7.4	632,369	10.3
カシオ計算機株式会社	2,563,160	36.8	2,029,375	33.1
CASIO COMPUTER (HK) LTD.	864,603	12.4	895,213	14.6
CASIO ELECTRONICS (SHENZHEN) CO., LTD.	859,052	12.3	528,821	8.6

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。